

第94回

日本小児精神神経学会

プログラム・抄録集

テーマ：子どもの心の専門家になる子どもの心の専門家を育てる

2005年10月14日（金）・15日（土）

名古屋市公会堂

会長：杉山登志郎

あいち小児保健医療総合センター

ごあいさつ

この学会が研究会として発足した半世紀前から、子どもの心の専門家は不足のままであり続けてきました。子どもの心の問題が関心と呼ばなかったわけではありません。それどころか、少し振り返っただけでも、不登校、自閉症、校内暴力、やせ症、家庭内暴力、いじめ、引きこもり、子ども虐待、援助交際、切れる子ども、学級崩壊、リストカットなどなど、様々な問題が切れ目無く社会的な関心を集めて来たのに、子どもの心の専門家は最も需給バランスの悪い領域であり続けたのです。

子どもの心の問題は、罹病率を足し算すると、発達障害が約1割、情緒障害が約1割と、全ての子どもの2割をしめる普遍的な問題です。それに対し、子どもの心の専門家、特に中核となるべき小児精神科医は全国で300人弱と推定されます。アメリカ合衆国との比較を行うと、実にわが国は人口比10分の1以下なのです。

心理臨床においても、発達障害と情緒障害を共に対応が可能な臨床家は決して多いものではありません。スクールカウンセラーの制度は、子どもの心の専門家を一見増やしましたが、特に発達障害の知識と経験に欠落があり、今や、スクールカウンセラーが機能するか否かは、発達障害への対応が可能か否かで決まるとまで言われるようになってきました。バランスの良い専門家が求められています。

今回、取り上げたいテーマは多々ありましたが、中心テーマを子どもの心の専門家の育成と定めたのは、今日のわが国の子どもへの健康を巡る大きな論点の1つとなっているからに他なりません。

若手の方々の積極的な参加を期待するものです。

第94回日本小児精神神経学会会長

あいち小児保健医療総合センター 杉山登志郎

学会参加者へのご案内(1)

◆ 総合案内

- 会 期：2005年10月14日(金)、15日(土)
会 場：名古屋市公会堂
愛知県名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号
TEL/052-731-7191
- 受付開始：10月14日(金)12:20より会場4階ロビーにて行います。
参加費：6,000円(会員)、7,000円(非会員)、4,000円(学生、ただし学生証提出が必要)
受付にて領収書を兼ねた名札を受け取り、ご所属とお名前をご記入下さい。
- 懇親会：名古屋栄東急イン 懇親会費5,000円
学会認定資格：なお、本学会への参加は、日本小児科学会認定医制度研修集会として8単位、
日本臨床心理士資格認定(参加2ポイント、発表者4ポイント)が認められます。
- 事務局：〒474-8710 愛知県大府市森岡町尾坂田1番2
あいち小児保健医療総合センター 心療科 東(ひがし)誠
TEL/0562-43-0500(代表) FAX/0562-43-0513
E-mail/jsppn@mx.achmc.pref.aichi.jp

◆ 会場への交通

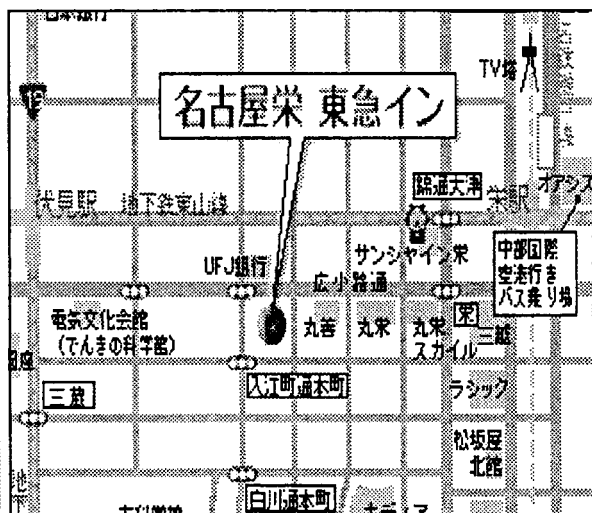
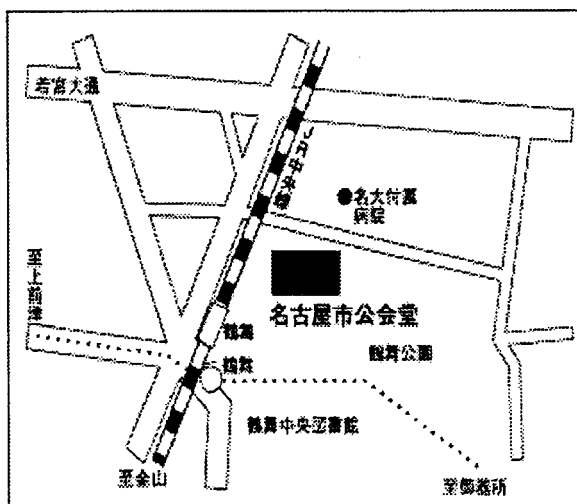
JR線ご利用の場合
名古屋駅から中央線2つ目、鶴舞駅下車
(快速、普通とも停車)公園口徒歩2分

地下鉄鶴舞線
鶴舞駅下車 4番出口徒歩2分

◆ 懇親会会場への交通

地下鉄
・鶴舞線・上前津駅下車/乗り換え
名城線・栄駅8番出口より徒歩7分

送迎バス(予定)



※ 当日は駐車場(有料)が混み合うおそれがありますので、なるべく公共の機関でお越し下さい。

学会参加者へのご案内(2)

◆ 発表者の方へ

- 一般演題の発表時間は7分です。時間厳守でお願いします。質疑応答は各セクションの演題すべてが終了した後にまとめて行います。演者の方は、そのセクションの発表がすべて終わりましたらすぐに舞台のお席に発表順にお座り下さい。
- 次演者の方は、演壇近くの「次演者席」でお待ち下さい。
- 発表機材はPCプレゼンテーション（1面映写）のみといたします。スライドは使用できませんのでご注意ください。ご自身のPCの使用についてはお断り致します。
- 発表時のパソコン操作は、学会事務局スタッフが行いますので、発表の際に指示をお願いします。
- 演者は発表当日、演題名、発表者名、所属を含めて800字以内の二次抄録を受付に必ずご提出下さい。その際、原稿の電子データ（テキストファイル）を保存したFDと打ち出し原稿を合わせてご提出下さい。当日提出なき場合は、一次抄録をそのまま掲載することもありますのでご注意ください。「小児の精神と神経」誌に掲載する予定です。

◆ 質疑応答に関して

座長、フロアの質問者は、ご自分の質問内容と演者の回答を、演者は質問内容とご自分の回答を、各々所定の用紙にご自分の所属、名前とともに記入して受付に提出して下さい。「小児の精神と神経」誌に掲載する予定です。ご協力をお願いします。

◆ 発表用データの作成

- 当会場で使用するパソコンのOSはWindows XP、アプリケーションはPowerPoint2002のみとなりますので、発表用データもそれに合わせて作成して下さい。
- 発表用データのファイル名は、「演題番号（半角演数字）＋発表者氏名」として下さい。
（例）X-99 杉山登志郎
- フォントはOS標準装備されているものをご使用下さい。画面レイアウトのバランス異常を防ぐため、フォントは「MSゴシック」「MS明朝」「Times New Roman」「Century」をお勧めします。
- 動画（PowerPointのアニメーション機能も含む）や音声は使用できません。
- 会場のパソコン内の発表データは学会終了後に学会事務局が責任を持って削除します。

◆ 発表用データの提出と確認

学会開催日5日前までに学会事務局に電子メール（jsppn@mx.achmc.pref.aichi.jp）で添付ファイル（データ量は5MB以内）送信をして下さい。その後の変更がある場合は、学会当日のプログラム開始2時間前まで（2日目の発表者は前日夕方まで）に受付にてデータ（USBメモリーまたはCD-Rに保存して下さい）をご提出下さい。その際、文字化け、段落の崩れ、動作確認などご自身のデータをご確認下さい。ただし、発表直前の提出については責任を持って対応できない場合がありますので、必ず事前に発表データを送信してください。発表終了後受付にてお預かりしたデータは返却します。

◆ 拡大委員会、役員会

拡大委員会：10月14日（金） 11:00～ 4階第7集会室
役員会：10月15日（土） 12:10～13:30 4階第7集会室

学会日程表

10月14日(金)		10月15日(土)
9:00		9:00 受付開始(4階ロビー)
		9:30 一般演題 D
10:00		10:25 一般演題 E
11:00	11:00 拡大委員会(4階第7集会室)	11:20 会長講演 「子ども虐待と発達障害」
12:00	12:20 受付開始(4階ロビー)	12:10 *役員会(4階第7集会室)
	12:55 開会の挨拶	*ランチョンセミナー 「男児への性虐待」 共催：日本イーライリリー株式会社
13:00	13:00 一般演題 A	13:30 シンポジウム 「子どもの心の専門家： 理想の研修、私の研修」
14:00	14:00 特別講演 「子どもの心の臨床」	
15:00	15:00 一般演題 B	
16:00	16:00 一般演題 C	16:25 閉会の挨拶
	16:55 休憩	16:30 終了
17:00	17:00 イブニングセミナー 「"Childhood Growth -Possible impact of methylphenidate-"」 共催：ヤンセンファーマ株式会社	
18:00		
	18:30～懇親会(名古屋栄東急イン)	
19:00		

第94回日本小児精神神経学会プログラム

第一日目 10月14日(金)

11:00~12:00 拡大委員会(4階第7集会室)

12:20 受付開始

12:55~13:00 開会の挨拶 会長 杉山登志郎

13:00~14:00 **一般演題 A 低出生体重児・AD/HDと広汎性発達障害**

座長: 宮島 祐(東京医科大学 小児科)

猪子 香代(東京都精神医学総合研究所)

A-1 極低出生体重児の6歳時のWISC-III結果

○松尾久枝(心理)¹⁾、二村真秀²⁾、石川道子³⁾

1) 中部大学、2) 愛知県コロニー中央病院、3) 名古屋市立大学病院

A-2 極低出生体重児のブラゼルトン新生児行動評価と発達予後との関連

○永田雅子(心理)、今橋寿代、永井幸代

名古屋第二赤十字病院小児科

A-3 PDD児とAD/HD児における注意機能の差異の検討 ~注意の分割に焦点をあてて~

○大沼泰枝(臨床心理士)¹⁾、平林伸一¹⁾、藤沢広信¹⁾、日詰恵里子¹⁾、吉越久美子¹⁾

近藤由香¹⁾、今田里佳²⁾、小松伸一²⁾、高橋知音²⁾

1) 長野県立こども病院、2) 信州大学教育学部

A-4 注意欠陥/多動性障害(AD/HD)から広汎性発達障害(PDD)に診断変更された症例の臨床的検討

○川谷正男(医師)¹⁾、中井昭夫¹⁾、清水聡²⁾、河村佳保里³⁾、内田彰夫³⁾、平谷美智夫³⁾

1) 福井大学医学部病態制御医学講座小児科学領域

2) 福井県立大学学術教養センター、3) 平谷こども発達クリニック

A-5 広汎性発達障害における注意欠陥/多動性障害の症状についての検討

○籓ひとみ(小児科医)、北山真次、常石秀市、松尾雅文

神戸大学医学部附属病院 親と子の心療部

14:00~15:00 **特別講演**

「子どもの心の臨床 ~子どもにこころの居場所感を贈るには~」

村瀬 嘉代子(大正大学教授)

座長: 若林 慎一郎(金城学院大学人間科学部)

15 : 00～16 : 00 一般演題 B 広汎性発達障害(1)

座長：小林 隆児（東海大学健康科学部社会福祉科）

辻井 正次（中京大学社会学部）

B-1 自閉症スペクトラムの有病率および生物学的要因について

○鷺見 聡（小児科医）¹⁾、石川道子²⁾

1) 名古屋市西部地域療育センター、2) 名古屋市立大学病院小児科

B-2 ヒスチジン血症における広汎性発達障害児の発生頻度

○宮地泰士（小児科医）^{1) 2)}、鷺見聡^{2) 3)}、今枝正行^{2) 4)}、石川道子²⁾

森下秀子²⁾、井口敏之^{2) 5)}、今橋寿代²⁾、山田理恵²⁾、斉藤久子⁶⁾

戸蒔 創²⁾

1) 名古屋市児童福祉センター

2) 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野

3) 名古屋市西部地域療育センター 4) 名古屋市北部地域療育センター

5) 星ヶ丘マタニティ病院 6) こどもクリニック

B-3 広汎性発達障害女児の幼児期経過の臨床的検討

○今枝正行（小児科医）^{1) 2)}、石川道子²⁾、宮地泰士²⁾、浅井朋子²⁾、井口敏行²⁾

作田織江²⁾、神谷美里²⁾、山田理恵²⁾、今橋寿代²⁾、森下秀子²⁾、斉藤久子²⁾、戸蒔創²⁾

1) 名古屋市北部地域療育センター、2) 名古屋市立大学小児科

B-4 P F スタディを用いた広汎性発達障害児の対人相互性の評価

○永江彰子（医師）、阿部純子、藤田泰之、口分田政夫

第一びわこ学園

B-5 広汎性発達障害児への乗馬活動に関する研究—優れた療育的效果を引き出す試み—

○慶野宏臣¹⁾、慶野裕美²⁾、鷺見 聡³⁾

1) NPO 法人篠木、2) 愛知県コロニー、発達障害研究所、

3) 名古屋市西部地域療育センター

16 : 00～16 : 55 一般演題 C 治療・療育

座長：塩川 宏郷（自治医科大学小児科学講座）

浅井 朋子（あいち小児保健医療総合センター）

C-1 小児心療科病棟開棟から2年半の活動経緯～集団力動を利用した「集団登校」の効果～

○虫賀智子（看護師）、加藤明美

あいち小児保健医療総合センター心療科

C-2 摂食障害の入院治療における主要因の検討

○川村昌代（精神科医）¹⁾、野邑健二²⁾、石井 卓²⁾、橋本大彦²⁾、猪子香代³⁾、

村瀬聡美⁴⁾、本城秀次⁴⁾

1) 名古屋大学医学部附属病院 精神科

2) 名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療部

- 3) 東京都精神医学総合研究所 児童思春期部門
- 4) 名古屋大学発達心理精神科学研究センター

C-3 軽度発達障害児のグループ活動の中における評価の有用性について

○小寺澤敬子¹⁾、仲谷早恵²⁾

- 1) 姫路市総合福祉通園センター小児科、2) 姫路市総合福祉通園センター作業療法士

C-4 ADHDをもつ子どもへの夏期治療プログラム：日本での試み

○山下裕史朗(医師)¹⁾、穴井千鶴²⁾、向笠章子²⁾、杉本亜実¹⁾、大重敬子¹⁾、大矢崇志¹⁾

永光信一郎¹⁾、松石豊次郎¹⁾、谷崎和一郎³⁾、松本良一³⁾、Elizabeth M Gnagy⁴⁾

Andrew R Greiner⁴⁾、William E Pelham⁴⁾

- 1) 久留米大学小児科、2) 久留米大学文学部心理学科

- 3) 久留米市教育委員会学校教育課

- 4) Department of Psychology, State University of Buffalo, NY

16:55~17:00 休憩

17:00~18:00 イブニングセミナー

共催：ヤンセンファーマ株式会社

“Childhood Growth –Possible impact of methylphenidate–”

Dr. James Swanson (カリフォルニア大学)

座長：星加 明德 (東京医科大学小児科)

18:30~ 懇親会 (会場：名古屋栄東急イン)

9:00

受付開始

9:30~10:25 一般演題D 広汎性発達障害(2)・神経症

座長：汐田まどか（鳥取県立総合療育センター）

北山 真次（神戸大学医学部附属病院 親と子の心療部）

D-1 激しい自傷行動を呈した広汎性発達障害の一事例

○齋藤優子（心理）¹⁾、宮本信也¹⁾、塚本貴文²⁾

1) 筑波大学大学院人間総合科学研究科、2) 群馬県西部児童相談所

D-2 総合病院における高機能広汎性発達障害児グループセッションの試み

○川戸綾子（心理）¹⁾、野村香代¹⁾、宇津山志穂^{1,2)}、永井幸代¹⁾

1) 名古屋第二赤十字病院小児科、2) 木沢記念病院小児科

D-3 広汎性発達障害を背景に持つと考えられた全緘黙の思春期例

○桜井優子（医師）、汐田まどか、北原 信

鳥取県立総合療育センター

D-4 選択性緘黙を主訴として来院した患児の傾向とその考察

○今井 康（精神科医）¹⁾、石井 卓²⁾、野邑健二²⁾、本城秀次²⁾

1) 名古屋大学医学部附属病院 精神科

2) 名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療部

10:25~11:20 一般演題E AD/HD・虐待

座長：宮本 信也（筑波大学人間総合科学研究科）

小石 誠二（あいち小児保健医療総合センター）

E-1 注意欠陥多動障害の症状尺度の検討

○猪子香代（医師）、小林由佳、小平かやの、林北見、大澤真木子

東京女子医科大学小児科

E-2 多動・集中困難の症状をもつ児の不安と抑うつ

○小林由佳（医師）、猪子香代、小平かやの、林北見、大澤真木子

東京女子医科大学小児科

E-3 てんかんと ADHD に関する検討

○小平かやの（医師）、猪子香代、林北見、大澤真木子

東京女子医科大学小児科

E-4 性的・身体的虐待をうけた患児の看護の実際—心的外傷後ストレス障害（PTSD）の看護—

○坂口博子（看護師）、野田ゆみ、竹内典子

あいち小児保健医療総合センター

E-5 里親養育と小児科医療
○塩川宏郷 (医師)
自治医科大学小児科学

11:20～12:10 **会長講演**

「子ども虐待と発達障害」

杉山 登志郎 (あいち小児保健医療総合センター)

座長：奥山 眞紀子 (国立成育医療センター)

12:10～13:30 役員会 (4階第7集会室)

ランチョンセミナー

共催：日本イーライリリー株式会社

「男児への性虐待」

宮地 尚子 (一橋大学法学部)

座長：庄司 順一 (青山学院大学)

13:30～16:25 **シンポジウム**

「子どもの心の専門家:理想の研修,私の研修」

シンポジスト

遠藤 太郎 (新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野)

飯山 道郎 (医療法人社団いよいよま いよいよま医院)

笠原 麻里 (国立成育医療センター)

小西 行男 (東京女子医科大学小児科)

指定討論：齋藤 慈子 (厚生労働省母子保健課)

司会：柳澤 正義 (日本子ども家庭総合研究所)

杉山登志郎 (あいち小児保健医療総合センター)

16:25 **閉会の挨拶** 会長 杉山登志郎